

面会交流及び子どもの変化に関する実態調査

目的

本調査は、別居・離婚後の親子交流がどのような状況であるか、その実際について、また親子が切り離されていく過程において、子どもにどのような変化があるのかについて調査するものです。結果は統計的に処理し、プライバシーは厳守いたしますので、ご協力ください。調査結果は、親子の面会交流を実現する全国ネットワーク（略称：親子ネット）のホームページに掲載するほか、国会議員やマスコミに対し、データを提供していく予定です。

アンケートの構成

本調査は、次ページより下記の順に構成されています。

- 1 . 現況調査
- 2 . 面会交流調停・審判・調査官調査の実態調査
- 3 . 別居・離婚後の子どもの変化
- 4 . 調停委員・調査官・裁判官に望むこと
- 5 . 別居・離婚後の自然な親子交流実現のために必要なこと

所要時間

約 15 分です。

【調査者、及び調査に関するお問い合わせ先】

親子の面会交流を実現する全国ネットワーク

代表 河邑 肇

< 事務所所在地 > 〒270-0027 千葉県松戸市二ツ木 95 スタジオZ内

< Tel & Fax > 047-342-8287

< Mail > info@oyakonet.org

1. 現況調査

1-1) 現況についてお聞かせください。

氏名 _____

性別 男・女 生年月日 西暦 年 月 日

連絡先（住所）〒 _____

（電話番号） _____

（メールアドレス） _____

現在の状況 別居・離婚・再婚

離婚している方の離婚の種別 協議・調停・裁判（和解含む）

子どもとの関係 監護親・非監護親

1-2) 別居または離婚事由についてお聞かせください。

別居または離婚の事由

（保護命令申立てやDVの訴えなどがあった際は、その旨も記入してください）

< 回答欄 >

あなたと配偶者間の暴力についてお聞きします。

振るった・振るわれた・ともになし・虚偽のDVを申立てられた

上記で振るった、あるいは振るわれ方に頻度をお聞きします。

日常的にあった・突発的にあった

1-3) 別居開始時の子どもについてお聞かせください。

年齢・性別（すべて記入してください）

<回答欄> 例) 1歳3ヶ月 男

別居時における子どもの居所決定方法 同意のうえ決定・連れ去り別居

1-4) 面会交流についてお聞かせください。

*以下、監護親の方は逆の立場に置き換えで回答してください。

例)「守られている」は「守っている」と置換える。

別居時に面会交流の取り交わし あり・なし

面会の頻度はどの程度ですか。

毎週・隔週・月1回・数ヶ月に1回程度・年1回程度・全くない

<備考欄> より具体的にご記入ください。

例) 月1回2時間程度、隔週2泊3日、長期休暇6泊7日など

取り交わし内容は守られていますか。 守られている・守られていない

守られていない方にお尋ねします。守られていない理由は何ですか。

<回答欄> 例) 子どもの病気、スケジュールが合わない

守られない場合の振替えについて ある・なし

1-5) 養育費についてお聞かせください。

別居時に養育費の取り交わし あり・なし

取り交わし内容を守っていますか。

守っている・守っていない

守っていない方にお尋ねします。守っていない理由は何ですか。

<回答欄> 例) お金が足りないから、子どもに会えないから

1-6) 心身への影響

子どもと切り離されたあとのあなたのダメージについてお尋ねします。どんなダメージがありましたか。

身体的・精神的・金銭的・ダメージはない・その他

<備考欄> 具体的な症状などについてご記入ください。

そのダメージは、克服できましたか。その方法も合わせてお聞かせください。

克服できた・未だにできない

<克服方法>

2. 面会交流調停・審判・調査官調査の実態調査

2-1) 調停の頻度、結果についてお聞かせください。

面会交流の調停申立てをされましたか。 した・しない

調停をおおよそ何回やり、どのぐらいの期間を要しましたか
　　回　　年　　ヶ月

面会交流の調停をして結果はどうになりましたか。
面会が実現・実現せず不調で審判へ・取り下げ・その他

調停・審判で取り決められた面会交流の頻度はどの程度ですか。
毎週・隔週・月1回・数ヶ月に1回程度・年1回程度・全くない

<備考欄> より具体的に記入ください。

例) 月1回2時間程度の(元)配偶者同伴が条件、年3回写真送付の間接交流

2-2) 調停・審判の内容についてお聞かせください。

(元)配偶者の言い分はどのようなものでしたか。

<回答欄> 自由にご記入ください。

調停委員・調査官の発言や態度は適切でしたか。
適切に思う・不適切に思う・どちらともいえない

不適切に感じたことを次からお選びください(複数回答可)。

面会交流調停なのに離婚を促された・男女差別的発言があった・事実確認もせずDVがあったことを前提にされた・子どもとの面会をあきらめるよう諭された・他人事で無責任な発言が多い・法律に合致しないことを薦められた・その他

<回答欄> その他、自由にご記入ください。

2-3) 調査官調査についてお聞かせください。

調査官調査が実施されましたか。 された・されない

子どもへの質問は適切になされましたか。

そう思う・そう思わない・どちらともいえない

<理由>

調査内容は納得のいくものでありましたか。その理由もあわせてお聞かせください。 納得・不服・どちらともいえない

<理由>

2-4) 面会交流調停の有効性についてお聞かせください。

調停・審判の内容が守られていますか 守られている・守られていない

あなたは、面会交流調停が機能していると感じますか。その理由もあわせてお聞かせください。 有効・無効・どちらともいえない

<理由>

3. 別居・離婚後の子どもの変化

3-1) 面会交流実現までに要した期間とその方法についてお聞かせください。

別居後、はじめて子どもに会えるまでにどのくらいの期間を要しましたか。

会えている方 年 ヶ月を要した
会えていない方 年 ヶ月会えていない

どのような方法で、子どもと面会をしていますか。

<回答欄> 監護親が常時同伴、第3者同伴で(親、支援団体の利用)、受け渡しのみ(元)配偶者が立ち会う、子ども達だけで会いにくるなど

3-1) 子どもの心身の変化についてお聞かせください。

最初に会えたとき、子どもの様子は同居時に比べどうでしたか。身体的な変化、言葉遣いや態度など、より具体的にご記入ください。

<回答欄>

面会を続けることで、子どもはどう変化しましたか。変化したと感じる方は、できる限り具体的にご記入ください。

<回答欄>

4. 調停委員・調査官・裁判官に対して言いたいことをご記入ください。

<回答欄> 自由にご記入ください。

5. 別居・離婚後の親子交流がどうあるべきだと思うか、そのためにどうすることが必要だと感じますか。

<回答欄> 自由にご記入ください。

これで実態調査アンケートは終了です。
ご協力ありがとうございました。



親子の面会交流を実現する全国ネットワーク